

---

# インスタントデイズ

神崎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

インスタントデイズ

### 【Nコード】

N4147L

### 【作者名】

神崎

### 【あらすじ】

文字のはきだめのような何か。

## 密室惑星

文字を覚えたことに満足して、惑星はすこしだけ濁った。  
両手ですくったきらりひかる水。

一口飲んで、あれ？ おかしいな、もうなくなった。

密閉された部屋の中で迫りくる賞味期限。

こんなぼくらを誰が見ているんだろう。

鮮度を保っています、開封後はお早めにお召し上がりください。  
おいしくいただける期間はとても短いのです。

歌にもあつただろう？

思い描いていたほど未来は未来じゃない。

まだ空には鳥が飛んでいるし、イルカは海で眠っているよ。

水も空気もまだまだたくさんあるから、心配することは何もない  
よ。

足りないものはきらりひかる水。それだけだから。

密封された箱の中で迫りくる消費期限。

こんなぼくらを誰が笑っているんだろう。

面倒おかけしますが、退屈とは言わずに見ていてください。

さみしくなっている暇はどうも無いようです。

愛を覚えたことに満足して、惑星はすこしだけ祈った。  
両手ですくったきらりひかるきみ。

名前を呼んで、あれ？ おかしいな、もういなくなった。

## ナンバーコンプレックス

いち、に、さんの素敵な合理性に、  
何百年も前から囚われ続けている  
これさえあれば大丈夫って、  
遺伝子に刻まれているんだね

きみとわたしは19歳で  
身長の違いは12センチ  
ふたりが出会って今日で6か月  
遊ぼうよって、1時に駅で待ち合わせしたけど  
5分前にやってきたわたしは  
きみが出てくる3番出口を見つめてる

いち、に、さんを素敵に駆使して  
ひとつの世界を確立させている  
あやふやなものはこわいんだって、  
遺伝子に刻まれているんだね

なんでも出来るようになったから、  
1000円出せば大画面で夢も見れる  
きみのとなりで見るそれは、  
すこしチープなラブストーリー  
120分のささやかな夢を  
380円のポップコーンで飲み込んだ

いち、に、さんの無敵な魔法に、  
何百年も前から糺りっぱなし

これかなけりややってらんないって  
いつのまにか依存していたんだね

これかなけりや駄目なんだって

ずっと言っているのにわからない

「きみはあと何年生きてくれるの」

本当に知りたいそれは、

いつまでたってもわからないまま

## 音信不通にこんにちは

当たり前前にあつたから、気づくのが遅れたね。

ずいぶん前から「本当」が行方不明。

物が散らかるこの部屋で、埃と一緒に埋もれたのかな。

「だいじょうぶだよ」って、

ボクの手を取って笑うキミは

それですべてうまくいったつもり。

「特別」はとてこわいから

「その他大勢」のひとりでいいよ。

独り占めしたいものだって何も無いから、

キミとの思い出は返品済み。

溶け込むことで安心した淡いボクに

キミはすこし眩しすぎたかな。

綺麗になったこの部屋で、見つからないのはおかしいね。  
最初から無かったみたいなのに、どこかに溶け込んだのかな。  
見つからないなら作ればいいよ。

「しあわせだね」って、

ボクの手を取って笑うキミは

それですべてうまくいったつもり。

無いと困るから、作ってごまかす。

積み重ねていくのが当たり前。

寄せ集めた「嘘」がどうにも本物みたいに見えるね。

どうしてって言うけど、なんでわからないかな。

溶け込むことも大変だった、キミは知らなかったの。

「本当」がずっと行方不明。  
それでも悲しくない不思議。



## メリーゴーランド・ワールド

ぐるぐる同じところを回って、  
それはバターみたいに溶けた。  
螺旋階段上った行く先は明るい未来なんだって、  
ずっとアナウンスが流れてる。

「扉が閉まります、ご注意ください」

仕方ないなんて嘘言わないで。

DNAだってホラ、僕らの好きな螺旋階段。

まわりまわったその先に、出口はまだ見つからない。

閉園間近の遊園地、誰もいないメリーゴーランド。

ミラーハウスで見たのは泣きそうな顔したあの子。

これからも夢を見るために、

地球にやさしくしてあげようってアナウンスが流れてる。

行く先は画面の向こう側。

ここが三次元なら、頭で思い浮かべたそこは四次元世界だって。  
ぐるぐるになった思いを箱に詰めて、

明日にささやかな贈り物。

地球儀ぐるぐる回してたのは、  
すこし言い訳したかったから？

「お忘れものの無いようにお降りください」



## ありふれた二人

息苦しいのは誰の所為？

終着駅に辿りついて

冷えた右手はポケットの中

神様が言ったら文字の呪文に

ぼくの5文字が隠れてた

またあした。さようなら。

つまらないものを見ていたね

二度と見ずに済むように

丈夫な鍵をかけました

デタラメ尽くしのパスワードは

見つからないように息を潜めた

夢が傷まないように

冷蔵庫にいれとけば良かったかな

ささくれた心に絆創膏

ほどけた絆に接着剤

糸を半分繋いだけじゃ

すぐに切れてしまうから

真似したわけでもないのに

誰かに似てるんだってこの笑顔

笑っちゃうね

生き苦しいのは誰の所為？  
繋ぐ相手がいないから  
余った両手で耳を塞ぐ  
神様が言っただら文字の呪文は  
ぼくの5文字で隠された

あいしてた。ふざけるな。

## ハッピーエンドレス

どさくさに紛れて逃走中  
そんな毎日送っていたら  
やるやる詐欺の常習犯になっていた  
ほら、まるで人間みたい

はやく逃げなくちゃって  
知識の森に飛び込んで  
積み上げられた文字を追う  
静けさに満ちたこの場所では  
吐き出す言葉も文字になる

子供騙しの紙切れで  
今日もすこし夢を見た  
不幸で可哀そうな孤児になって  
予め用意されたハッピーエンドをお出迎え

西の魔女が死んでも  
博士が数式を愛しても  
「それは違う世界の話よ」と  
微笑む館長、あなたはだあれ？

蹴りたい背中も  
いま会いにいきたい人もいない  
早々に館長から逃げ出すと  
喚き泣いた、ぼくはだれ？

やるやる詐欺の常習犯  
意気地なしの意地っ張り  
幸福なぼくらの不幸好き  
ひとりよがりの孤独症  
ほら、まるで人間みたい？

古臭いインクの匂いを鼻がかすめる  
今日はもう、夢は見ない

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4147/>

---

インスタントデイズ

2011年10月2日22時55分発行